

日本発トスカーナ便り：イタリアの鉄道

日本で都市部に住んでいると、電車やバスといった公共交通が網の目のように張り巡らされていて、インターネットでもすぐ出発時間・到着時間や乗り継ぎ時間という情報が入手できますよね？ダイヤは事故や悪天候といった条件がなければ大幅に遅れることは少ないし、快適に目的地まで到着できます。

それがイタリアとなると、かなり環境が変わります。特に鉄道！

まず、ある程度大きな街でないと鉄道駅がありません。そして、駅はたいがい街の中心の「外」にあります。もちろんイタリアには長い歴史を持つ街が多いので、後でできた「鉄道」の駅は街の外になります。

イタリア国内を鉄道を使って旅しようと思うなら、気を付けるべきことは沢山ありますが、重大事項は下記の3つでしょうか？

1. 切符は時間の余裕をもって準備すべし。

大きな駅には有人のチケットカウンターがあります。でもたいてい一つしか開いてなくて、だいたい一人の人にかかる時間が長いので、すごい待たされます。自動券売機もありますが、コインしか受け付けてくれなかったり、クレジットカードが使えなかったり。自動券売機が4台あっても1台しか稼働してない、なんてよくあることです。時間の余裕をもって切符の準備をすることをお勧めします。



2. 必ず刻印

切符の準備ができたなら、乗車前に必ず刻印。

駅やホームのどこかに、こういう刻印機があるので、タイムカードの要領で、ガチャんと切符に刻印します。これをしないと不正乗車になります。

ただ、これももちろん落とし穴があって、刻印機が複数あっても1台しか動かない場合もあれば、全滅の場合だってよくあります。急いで電車に飛び乗って刻印できなかったとか、走り回って全部試したけど全滅だった場合は…。電車に乗ってすぐに車掌さんを探しに行き、「刻印できなかった」旨を説明して、その場で処理してもらえばOK。

(検札に来るまで待つて説明するのはダメみたいです。自主的に申告しないとね。)でも実はもっとすごい裏ワザがあるらしく、ある日検札にやってきた車掌さんに聞いてかなり驚いたのですが、なんと自分で切符の端にボールペンで乗車した日付・時間を記入すればOKとのこと。冗談みたいですが、要は日本のように自動改札がないので、切符の再利用ができなければそれでよし。という考えのようです。最近では移民その他、不正乗車が多いらしく、結構検札も厳しくなっています。あとは、まれに車掌さんにIDの提示(日本人の場合はパスポート)を求められる場合がありますが、イタリアでは電車内での車掌さんは公的にその権限を認められているので、パスポートを見せないとダメです。少なくともパスポートの写真ページのカラーコピーは常時持ち歩くことをお勧めします。ちなみに刻印が必要なのはローカル線の列車の切符で、座席予約の必要な高速鉄道(切符に指定座席の記載のあるもの)の場合は、刻印は不要です。

ちょっとややこしいですが、とりあえずは常に刻印が必要と思っておけば間違いありません。☺

3. 列車の遅れ

イタリアでは鉄道・バスのRitardo(リタルド:遅延)が日常的に発生します。定刻~10分くらいの遅れ=奇跡。15~30分の遅れ=日常的。1時間くらい遅れない限りは「遅れてごめん」のアナウ

ンスすら入りません。で、注意が必要なのは、列車の乗り継ぎが必要な旅行の場合！乗り継ぎ時間が10分とかだと間に合わない可能性もある反面、乗り継ぎ先の列車も同じように遅れていて、間に合ったりする場合もあるので、何とも言えませんが、「遅れそう！」と思ってイライラしたくなければ、多少ゆったり（30分くらい）の乗り継ぎ時間で予定を組むことをお勧めいたします。

遅れるのはローカル線だけではなくて、特急列車も同じくです。あとは Sciopero（シヨペロ：ストライキ）も多いし、突然列車の Binario（ビナリオ：ホーム）が変わることも珍しくないの、駅の案内板や駅でのアナウンスの内容に要注意（イタリア語だけの案内なので、ちょっと大変ですが）！

で、日本の新幹線にあたる Tranitalia（トレニタリア）の高速列車は3種類

名前	運行区間	最高速度	クラス	食事
Frecciarossa (フレッチャロッサ) 赤い矢	トリノ～ミラノ～フ イレンツェ～ローマ ～ナポリなど、高速 新線区間のみ運行	300 Km/h	4クラス制 (エクゼクティブ・ビ ジネス・プレミア ム・エコノミー)	食堂車あり
Frecciargent (フレ ッチャルジェント) 銀の矢	高速新線区間+在来 線区間を直行運転	250 Km/h	2クラス制 (ファースト・スタン ダード)	Bar 車両 (軽食) あり
Freccia Bianca (フレ ッチャピアンカ) 白い矢	在来線区間で運行す る長距離列車	200 Km/h	2クラス制 (ファースト・スタン ダード)	不明ですが絶対 Bar はあると思います。

他にも IC（インテルシティ）や R/RV（レッジョナーレとレッジョナーレヴェロチタ）といった高速鉄道もありますよ。Freccia（フレッチャ）3種類と ICE は全席指定席です。



Frecciarossa の外観と客席の様子。なかなかおしゃれで快適でした。下は Frecciargent（左）と Freccia Bianca



あとは、主要都市間のみで、運行区間はまだ少ないものの、Tranitalia 以外の高速列車もあります。(同じ線路を走ります) 2012 年から運行を開始した民間鉄道会社の高速列車です。

その名も.Italo (イタロ)



なかなかおしゃれな感じの電車です。一度乗ってみたい気もします。ちなみに、旅行者向けに販売されている「ユーレイルパス」などの鉄道パスでは.italo は使えないようなので、ご注意を！

最後に。窓口で発券される Tranitalia の切符ですが、ちょうど「定型横長封筒」くらいのサイズです。普段日本の電車の切符に見慣れていると、無駄にデカイ気がします。☺

乗車の際に切符に刻印する場所は一応決まっていますが、表でも裏でも、どこかに刻印さえあれば OK なので、あんまり細かく考える必要はありません。反対に、間違って違う切符に刻印しちゃった場合(例えば往復で買って、先に復路に刻印した場合など)は車掌さんに取り消してもらいます。これもただ、車掌さんが切符に「刻印無効」みたいなことを手書きで書く→次回乗るときに、「前回間違っただけで刻印して取り消してもらった」旨説明する。だけなんですけどね…。☺



大きな駅には必ず駅の中に。そして小さな(1日に何本かしか電車が止まらないような)駅にも、必ず駅の近くに Bar (バー) があります。そう。コーヒーショップ+軽食+売店を兼ねた、イタリア独特のお店です。朝電車に乗る前に朝ごはん。ちょっと早く着いたので、Caffè (カフェ: エスプレッソのことですね) を一杯。20 分の列車の遅延を待つ間に Caffè 一杯。と駅の Bar はいつも賑わっています。Bar の話はまた別の機会に！

話は脱線しますが、ヴェネチアの駅で見かけた、スイスのチューリッヒから到着したスイス鉄道 (SBB) の高速列車。この車両のノリノリな感じの「くまさん」のマークが一体何を意味するのか? 気になるところです。

イタリアの鉄道でした！

